

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、こんにちは。3月に入ってぼかぼか陽気の日も多くなりましたね。晴れた日では、車の移動中には汗ばむくらいの暑さです。でも夜になると、まだまだ寒い

ので、体調管理が難しいですね。

三月は、風の強い日も多くて、中央道を移動中に、ハイエースは、バスのように空気抵抗が大きいので、緊張しながら運転しています。最近、高速道での事故をよく目にします。皆様も運転には十分に気をつけて下さい。

「富士川町誕生！」

弊社の本社のある山梨県増穂町は3月8日から隣町、鯉沢町と合併して、富士川町になりました。富士川とは町の東側を南北に流れる川で、国道52号線と並行しています。江戸時代には、この川を利用して、物資や人の往来拠点として利用していました。

中部横断道は、2006年に増穂インターが開通し、都心からのアクセスもしやすくなりましたので、これからは地元のアピールもしていこうかなと



と思っています。富士川町の特産は、ゆずやラ・フランスがあり、全国的にも有名な酒蔵「春鶯囀(しゅんのうてん)」もあります。また、富士山頂から朝日が昇るダイヤモンド富士を眺めることが出来る場所です。一度、遊びに来てみて下さい。

「水盤排水口、エフロ洗浄」

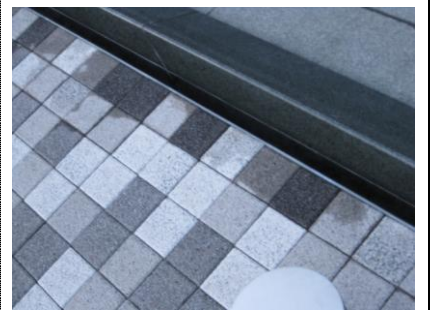
今回の石材メンテナンスは、水盤の排水口部分の立上り部分に付いたエフロの除去洗浄です。立上り部分に目地があって、そこからエフロが発生しています。写真で見ても隙間がなさそうですが、実際、腕が入るような所では無いので、ケレンが下まで届かなくて困りました。御影石は本磨きなので、強い洗剤も使用できないから、近くのホームセンターに行って出来るだけ柄の長いスクレーパーを購入してきました。

一本はカッターの刃が交換できるスクレーパーで、柄の長さが40センチくらいのもので、もう一本は、刃は交換できないのですが、柄が1M近くと長いタイプです。隙間は

10cmもなく、柄の部分が当たって下まで届かないのであまり効果がないかと思いましたが、最終的にはいろいろ



な工夫が出てきて、知恵が付いてきて、柄の長いタイプのケレン部のヘラを可能な限り反らせてからは、下まで届くように洗浄が出来て、何とか仕上げる事が出来ました。



落書き除去

商店街の柱部分によくある落書きです。スプレー缶で書いた落書きです。まずは、ケレンで表面についた塗膜を出来る限り取り除き、それだけで取りきれない部分をシミ抜きしていきます。溶剤は乾燥の早いタイプを使用するのがコツです。石目に入り込んだ顔料は、漂白剤で抜いていき、何とか目立たなくなるまで持っていくことが出来まし



た。今回はありませんでしたが、黒系の落書きは厄介ですので、注意が必要です。

(編集後記) ホームページからのお問い合わせが多いのは、マンション玄関の土間のツヤボケ復元です。玄関は家の顔だから、常に綺麗にしておきたいのだと思います。天然石は、復元可能が利点なので是非お問合せ下さい。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) kandsstg@it4.so-net.ne.jp

